

御 中

年 月 日

アイカ工業株式会社 甚目寺工場
化成品カンパニー 品質管理部
お問い合わせ電話番号 052-443-4811

SDS (安全データシート) のご送付案内とお願い

拝啓

貴社いよいよご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、労働省の有害性等情報通知制度に基づき、下記品目のSDSを送付させていただきます。お取り扱いをされます貴社関係者のすべての皆様方に当SDSをご参考にして頂き、有害性情報等についてご周知くださるようお願い致します。

尚、誠に恐れ入りますが、SDSを受領されましたら「受領書」欄にご記入のうえ、速やかに弊社返送先までFAXにてご返送くださいますよう、併せてお願い申し上げます。

店所記入欄

店所名：	担当者：
ご送付日： 年 月 日	
SDS送付先顧客様：	電話番号：
製品名	

記入のうえ顧客様送付前に甚目寺工場生産企画部宛にFAXお願いします。	

SDS受領書

製品名 _____

返送先
アイカ工業株式会社 甚目寺工場
化成品カンパニー 生産企画部
FAX番号 052-443-4825

年 月 日

貴社名： _____
ご担当者名： _____ 印
ご住所： _____
電話番号： _____

ご担当部署： _____

ご記入のうえ、切り離さずに本紙をそのまま返送先までFAXにてご返送下さいますようお願い申し上げます。

以下、余白

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

[供給者] 会社 アイカ工業株式会社
住所 愛知県あま市上萱津深見24番地
担当部門 化成品カンパニー 品質管理部
電話番号 052-443-4811 FAX番号 052-443-4825
緊急連絡先 担当部門に同じ

整理番号: DJQ-0005-08 改訂日 2024年 3月 22日
作成日 2003年 5月 23日

化学品の名称 ジョリパットシルキーパレットJQ-55シリーズ

(化学名, 商品名)

推奨用途及び使用上の制限 工業用、所定の用途以外には使用しないこと

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

可燃性固体	区分に該当しない	
急性毒性 (経口)	区分に該当しない	
急性毒性 (吸入: 蒸気)	区分に該当しない	
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない	
生殖細胞変異原性	区分1B	
発がん性	区分1A	
生殖毒性	区分1B	
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分2	心臓・腎臓・神経系・中枢神経系・全身
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	区分2	心臓・神経系・中枢神経系
水生環境有害性 短期 (急性)	区分3	

※上記で記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない。

ラベル要素:

・絵表示



・注意喚起語 危険

・危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれ
発がんのおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
臓器の障害のおそれ (心臓・腎臓・神経系・中枢神経系・全身)
長期または反復暴露による臓器の障害のおそれ (心臓・神経系・中枢神経系)
水生生物に有害

・注意事項 (GHS対応表記)

安全対策 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。
取扱後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
緊急時を除き、環境への放出を避けること。

救急措置 暴露または暴露の懸念がある場合、医師の診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の診断を受けること。

保管 施錠して保管すること。

廃棄 内容物や容器を廃棄する場合は、法令・条例に従って廃棄すること。

※製品ラベルの有害性情報は製品群毎に共通の内容としていますので、個別の安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物
 化学名又は一般名： アクリル樹脂仕上げ塗材
 成分及び含有量：

成分名	含有率 (%)	CAS No.	化審法
水酸化アルミニウム	30～40	21645-51-2	既存
水	20～30	7732-18-5	既存
炭酸カルシウム	10～20	471-34-1	既存
アクリル樹脂	5～10	30351-73-6	既存
アモルファスシリコン	6.1	112926-00-8	既存
酸化チタン(IV)	2.2	13463-67-7	既存
結晶質シリカ	0.14	7631-86-9	既存
(トナー量によって、下記範囲内の物質を含有する)			
ピグメントブルー-15	0～0.28	147-14-8	既存
カーボンブラック	0～0.24	1333-86-4	既存

4. 応急措置

目に入った場合： ・直ちに清浄な水で15分間以上洗眼する。まぶたの裏まで完全に洗うこと。

皮膚に付着した場合： ・付着物を布にて素早く拭き取る。
 ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
 ・溶剤、シンナーは使用しないこと。
 ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受ける。

吸入した場合： ・空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合： ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
 ・嘔吐物は飲み込ませないこと。

5. 火災時の措置

消火方法： ・火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
 ・保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

消火剤： 水 [○] , 二酸化炭素 [○] , 泡 [○] , 粉末 [○] , 乾燥砂 [○] その他 (強化液)

使ってはならない消火剤： 特になし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置： ・作業の際には長靴、手袋、保護眼鏡などの保護具を着用する。

環境に対する注意事項： ・乾燥砂、土、おがくず等に吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。河川等へ排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材： ・少量の場合は紙、布、砂などに吸収させ、フタ付きの器等に回収する。
 ・大量の場合、何よりも拡散の防止を図る。できるだけ液体を容器に回収する。回収できなかったものに対しては、少量漏出時の措置をとる。
 ・流出その他の事故が発生した時は警察署、消防署等の関係機関に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
 ・取扱いは、換気の良い場所で行う。
 ・目、皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡、保護手袋などの保護具を着用する。
- 保管：
 ・容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。
 ・凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。
 ・保管時の温度は、5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。
 ・皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

成分名	安衛法 ばく露濃度基準	日本産業衛生学会 作業環境測定基準 許容濃度(mg/m ³)	管理濃度
酸化チタン(IV)	-	0.3	-

- 設備対策：
 ・蒸気、ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。
- 保護具：
 呼吸用保護具：状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。
 保護眼鏡：状況に応じ、保護眼鏡を着用する。
 保護手袋：状況に応じ、PE、ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。
 保護衣：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：	ペースト状
色：	各色
臭い：	特徴的な臭気がある
融点／凝固点：	約0℃（水として）
沸点又は初留点及び沸点範囲：	約100℃
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	該当しない
自然発火点：	データなし
分解温度：	データなし
pH：	約9
動粘性率：	データなし
溶解度：	水で無限大に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	約1.5（20℃）
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

- 反応性：通常取扱い条件では反応性はない。
- 化学的安定性：通常取扱い条件では安定。
- 危険有害反応可能性：通常取扱い条件では危険有害反応を起こさない。
- 避けるべき条件：なし
- 混触危険物質：なし
- 危険有害な分解生成物：知見なし

11. 有害性情報

- [GHS分類] 急性毒性：経口：混合物の急性毒性推定値は2000mg/kg以上。
 経皮：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
 気体：本製品は常温で固体のため分類対象外。
 蒸気：混合物の急性毒性推定値は20mg/L以上。

	粉じんおよびミスト：混合物の急性毒性データが不十分のため、分類できない。
皮膚腐食性／刺激性：	混合物の、皮膚腐食性区分2以上に該当する成分濃度は1%未満。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性：	混合物の眼に対する重篤な損傷性データが不十分のため、分類できない。
呼吸器感受性：	混合物の呼吸器感受性データが不十分のため、分類できない。
皮膚感受性：	混合物の皮膚感受性データが不十分のため、分類できない。
生殖細胞変異原性：	混合物の、生殖細胞変異原性区分1Bに該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1Bに相当。
発がん性：	混合物の、発がん性区分1Aに該当する成分濃度が0.1%以上あるため、区分1Aに相当。
生殖毒性：	混合物の、生殖毒性区分1Bに該当する成分濃度が0.3%以上あるため、区分1Bに相当。
特定標的臓器毒性（単回暴露）：	混合物の、特定標的臓器毒性（単回ばく露）（10×区分1）+区分2の成分濃度が10%以上あるため、区分2に相当。
特定標的臓器毒性（反復暴露）：	混合物の、特定標的臓器毒性（反復ばく露）（10×区分1）+区分2の成分濃度が10%以上あるため、区分2に相当。
誤えん有害性：	混合物の誤えん有害性データが不十分のため、分類できない。

[その他の情報] 生じる影響： 知見なし
成分の急性毒性：

成分名	LD50 (mg/kg)	生物種
カーボンブラック	15400	ラット

12. 環境影響情報

[GHS分類]	水生環境有害性 短期（急性）：	混合物の、水生環境有害性 短期（急性）区分3に該当する成分濃度が25%以上あるため、区分3に相当。
	水生環境有害性 長期（慢性）：	混合物として、GHS判定上分類できない。
	生態毒性：	データなし。
	残留性・分解性：	データなし。
	生体蓄積性：	データなし。
	土壤中の移動性：	データなし。
	オゾン層への有害性：	モンリオール議定書の附属書に記載される物質成分はない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	・廃棄は焼却により行う。これを含む排水は凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。その他、水質汚濁防止法、廃棄物処理法の定めるところに従う。
汚染容器・包装：	内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

14. 輸送上の注意

国連番号：	非該当
品名：	非該当
国連分類：	非該当
容器等級：	非該当

「取扱い及び保管上の注意」の項に記載による他、引火性の強い有害な液体に関する一般的な注意による。
その他、消防法、船舶安全法等の法令に定める所に従う。
容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、破損がないように、積み込み荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法：	非該当
毒物劇物取締法：	非該当

労働安全衛生法：

[表示対象物質] 酸化チタン (IV)

[通知対象物質] カーボンブラック、酸化チタン (IV)、銅及びその化合物

※2024年4月1日以降、改正労働安全衛生法における指定物質 (追加・変更分)

[表示対象物質] 非該当

[通知対象物質] 非該当

※2025年4月1日以降、改正労働安全衛生法における指定物質 (追加・変更分)

[表示対象物質] 非該当

[通知対象物質] 非該当

※2026年4月1日以降、改正労働安全衛生法における指定物質 (追加・変更分)

[表示対象物質] 非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)

[通知対象物質] 非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)

[特化則] 非該当

[有機則] 非該当

[がん原性がある物質として厚生労働大臣が定めるもの] (労働安全衛生規則第577条の2第3項)

結晶質シリカ

皮膚等障害化学物質 (労働安全衛生規則第594条の2第1項)

[皮膚刺激性有害物質] 非該当

[皮膚吸収性有害物質] 非該当

P R T R 法：

[特定第1種指定化学物質] 非該当

[第1種指定化学物質] 非該当

[第2種指定化学物質] 非該当

16. その他の情報

日本建築仕上材工業会

ホルムアルデヒド放散による区分 F☆☆☆☆ 登録番号No. 0807008

この安全データシートは、JIS Z 7253(2019)に基づいて記載しております。記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

製品に関するお問い合わせはアイカ問い合わせセンター(0120-525-100)まで。

最新SDSにつきましては代理店若しくは弊社担当営業へご請求ください。

[参考文献]

- ・ 12093の化学商品
- ・ 化学物質の危険、有害便覧
- ・ 知っておきたい職場の化学物質

化学工業日報社
中央労働災害防止協会
中央労働災害防止協会
